

島根県主催大会ガイドライン

島根県テニス協会競技運営委員会

令和3年3月26日更新

当日の朝の確認事項（以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事）

Web 感染症チェックを送信すること。受付時に受信確認画面を提示してください！



web 感染症チェック

- ◎体調不良（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ◎同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ◎過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・マスクを装着する。（コート外では必ず、マスクを着用すること。）

会場入りする際の手順

- ・分散集合とするので、必ずOPで会場入りの時間を確認する。
自身の予定時間より早目の会場入りは禁止します。
- ・他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること。
- ・受付時に**検温とwebチェック受信確認画面を提示**。除菌シートを受け取る。
- ・OOP上側の選手が試合球を受け取る。**全試合、NEW缶を使用します。**
- ・無観客試合とします。選手以外の方は会場入りできません。

会場内での厳守事項

- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ・試合中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ・イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県協会に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ・更衣室の原則使用禁止、使用する場合は換気と使用の時間差を設ける。
(使用前、使用後の除菌を徹底する。) 大会スタッフの指示に従ってください。
- ・熱中症対策（自己管理の徹底）
- ・タオルの共用はしないこと。
- ・飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。
- ・ゴミは必ず持ち帰ること。
- ・表彰式は行いません。

コート内マナーについて

- ・コートへの入退場時に必ず手指の消毒をする。
- ・事前に OP を確認し、自分が入るコート側で待機し、試合終了後、選手がコートから退場してから、入場する。入場したら自分が使用するスコアボード、ベンチ、S 字フックの除菌を行う。除菌終了後にマスクを外す。
- ・ソーシャルディスタンス トスする際も離れて行う。
- ・握手はしない、ラケットタッチもしくはお辞儀。
- ・隣から入ってきたボールは手で触れず、ラケットと足を使って返すこと。
- ・エンドチェンジは時計回り
- ・選手はプレー中に自分からの飛沫感染を最小限にする工夫をすること。リストバンド着用を推奨する。咳やくしゃみが出そうな時はリストバンドもしくはタオル、長袖や上着で口をおおうこと。できるだけ手で顔を触らないようにタオル等を使用する。
- ・スコアボードの養生テープ部分を掴んで、自分のスコアのみ変える。
- ・タオル掛けはS字フックを使用。(ドロー番号がわかりやすい方が左側のフックを使用する。)
- ・競技方法は大会要項に準じ、セルフジャッジとする。
- ・勝者が本部に結果報告、試合球を返却する。

大会本部の対応

- ・本部窓口には、手指消毒剤を設置。
- ・大会本部は十分な換気を行う。(タイマーで換気時間を管理する。)
- ・発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は出場を認めない。
- ・大会スタッフには、マスクを着用させる。また対面対応時はフェイスシールドを着用する。使用済ボールを直接扱う場合は手袋及びトングを使用する。
- ・マスク等の準備(大会主催者は、参加者がマスク、リストバンドを準備しているか確認する。)
(※) マスク (特に外気を取り込みにくいN95 などのマスク) を着用して試合を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知すること。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知する。
- ・試合結果報告やボール渡しなど大会本部での対応の際、混雑を極力さける。
- ・大会使用球の除菌作業を行う。
- ・トイレを定期的に除菌。
- ・ゴミの廃棄、ベンチなどの除菌をした際のゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。

以上を厳守し、選手、スタッフが力を合わせて大会を安全に成功させましょう！